

読んだ本

(まんが／横馬場リョウ シナリオ／蛭海隆志 監修／吉祥瑞枝 集英社)

## 「マリー・キュリー」

森村学園初等部一年

大久保 弐瑚 おおくぼ にこ

マリー・キュリーはせかいではじめて、じよせいでノーベルしょうをもらった人です。しかも、ノーベルしょうを二回もらったのもせかいではじめてです。

そのころはじよせいがべんきょうをするところがとてもむずかしいじだいでした。マリーは小さいころからたくさん本をよみ、たくさんべんきょうをしました。べんきょうをしてかがくしゃになつたマリーは、お金のためではなく人びとのためにやくだつけんきゅうをしたいとつねにおもっていました。

じよせいがべんきょうすることがむずかしいじだいにいっしょうけんめいべんきょうしてノーベルしょうを二回ももらうなんてすごいなとおもいました。人びとのためにやくにたとうというきもちは、わたしもみならいたいとおもいます。

いつかマリーのようなすてきなじよせいになれるように、マリーにまけずにたくさんの本をよみたくさんべんきょうをして、せかいじゅうの人びとがしあわせになれるよのなかつくくれたらよいなとおもいます。